

地域リハビリテーション支援センター 令和4年度活動実績 ①

資料4-5

圏域・センター	(区中央部) 東京慈恵会医科大学附属病院	(区南部) 荏原病院	(区西南部) 初台リハビリテーション病院	
【地域リハ関係者との連絡協議会等】				
開催回数	2回	3回	3(令和4年度中に計6回開催見込み)回	
【リハ専門職・リハ関係者、地域住民などを対象とした研修会・研究会、講演会】				
開催回数	4回	10回(主催6回/後援4回)回	8(令和4年度中に計9回開催見込み)回	
参加人数計	301人	842人(主催439名/後援403名)人	500人	
主なテーマ等(※)	開催日	令和4年7月11日	①令和4年7月26日 ②8月3日	令和4年10月22日
	概要・受講者等のご意見等	講師に河北リハビリテーション病院リハビリテーション科の黒田慶子先生をお招きし、リハビリテーション実施時に必要な栄養学の知識について関連職種にもわかりやすくご講演いただいた。	①「品川区の防災計画の今とその先」 ・行政の取り組み、体制がわかりとても良かった ②「大田区の災害計画」 「災害時のリハビリテーション職種の役割」 ・災害時のリハビリへの意見、どう動くべきか勉強になった	いつまでも食べることを続けるために 摂食嚥下障害についての予防的取り組みを知る 渋谷区歯科医師会の協力の下、オーラルフレイルについての研修会を、オンラインライブ・オンデマンド配信の選択形式で開催。日頃から、口腔機能を維持することの意識、予防の重要性についての理解が、参加者の中で深まった。
主なテーマ等(※)	開催日	令和4年8月1日	①令和4年10月14日 ②11月15日	令和5年2月17日
	概要・受講者等のご意見等	講師に杏林大学保健学部理学療法学科准教授の橋立博幸先生をお招きし、地域住民の活動参加を促進する方策や支援方法について理学療法学の基礎的なデータを含めご講演いただいた。	① 講義+公開討論会 「脳卒中急性期の治療とリハビリテーション」 「適切なケアマネジメント手法について」 ・医療職とケア双方の視点からの意見が聞けて勉強になった ② ミニ講義+グループディスカッション 「多職種連携のためのICT活用事例」 ・普段できない他職種とのグループディスカッションはよかった	認知症のひとびとの不安～声なき声をキャッチするために～ 「認知症ケア」をテーマに、老人看護専門看護師による講演会をオンラインで開催。認知症の人たちがより豊かに地域での暮らしを続けるために、医療・介護専門職が、それぞれの立場で支援できることを学ぶ機会となった。
【その他地域特性やニーズなどに応じて独自に実施した主な取組】				
取組①	地域リハビリテーションにかかわるすべての人向けのパンフレットを作成し、配布した。	地域リハビリテーション活動支援事業(大田区の介護予防事業)への支援	リハビリテーション医療機関マップ(Web版)	
取組②	障害者の就労支援について、実際に障害者の雇用を行った企業の担当者、主治医、作業療法士がパネルディスカッションを行うセミナーを開催した。	おおたSTネットワーク連絡会の開催	ケアプラン相談支援	

※「主なテーマ」は、年度内に実施した研修会や講演会などのうち、自センターの強み・独自性を活かしたものや、受講者等から多くの反響などがあったものから選定

地域リハビリテーション支援センター 令和4年度活動実績 ②

圏域・センター	(区西部) 慶應義塾大学病院	(区西北部) 豊島病院	(区東北部) いずみ記念病院	
【地域リハ関係者との連絡協議会等】				
開催回数	3回	3回	1回	
【リハ専門職・リハ関係者、地域住民などを対象とした研修会・研究会、講演会】				
開催回数	8(主催3回、共催1回、後援4回)回	5回	9回	
参加人数計	713人	206人	552人	
主なテーマ等(※)	開催日	令和4年8月24日	令和4年10月14日	令和4年6月15日
	概要・受講者等のご意見等	<p>テーマ 重症COPD患者をV字回復させる、在宅における呼吸ケア・リハビリテーション</p> <p>講師：いきいきクリニック 院長 武知由佳子先生</p> <p>【受講者等の主なご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅での包括的呼吸リハビリテーションの重要性が症例を通して感じる事ができました ・リハビリだけでなく、栄養や患者さんのマネジメント、多職種での連携の必要性を感じました。 	<p>テーマ 災害リハビリテーション概論～災害時にリハビリテーション医療職が期待されること</p> <p>講師：大阪医科薬科大学医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室 准教授 富岡正雄先生</p> <p>【受講者等の主なご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に参考となった。 <p>支援センターとして災害リハにはまだ着手できてないが、皆さまと情報交換しながら少しずつ進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらためてJRATの進化を理解することができた。 	<p>テーマ 地域でのがんのリハビリテーション</p> <p>・支持的・緩和的な関りにおいて、丁寧な身体的・心理的ケアのポイントや具体的な対応について講義形式で学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても分かりやすく、明日から臨床に生かしていきたい。 ・質問に答えていただき、大満足でした。 ・骨転移からの骨折の危険性への心がけが認識できました。 <p>など</p>
主なテーマ等(※)	開催日	令和4年12月16日	令和5年1月21日	令和4年9月14日
	概要・受講者等のご意見等	<p>テーマ すぐに役立つ神経難病患者へのコミュニケーションサポート</p> <p>講師：独立行政法人国立病院機構東埼玉病院リハビリテーション科 三橋里子先生・強瀬菜月先生</p> <p>【受講者等の主なご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション方法には様々な仕方があることをたくさん知ることができました。 ・スイッチについて詳しく知りたかったため、細かく動画なども混ぜて分かりやすく説明して下さい、とても助かりました。 	<p>テーマ より良い活動を求めて支援する～義肢装具の観点から～</p> <p>(基調講演)：「義肢装具からみた地域リハビリテーション」昭和大学リハビリテーション医学講座主任教授：川手信行先生 (シンポジウム)：「豊島区における義肢装具の地域連携」医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士</p> <p>【受講者等の主なご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・装具診、PT以外のリハ職の外来をしている医療機関、訪問看護Stのリスト、装具等窓口等の退院後のリハガイド、装具等基本知識をまとめたリーフレットがあると良い。 ・長年装具をしていて、メンテナンスがされない利用者について、訪問看護師の意見を聞きながら、現状の体に合っているか検討したいと思った。 	<p>テーマ 認知症をもつ方に対するパーソン・センタード・ケアの実践に向けて</p> <p>パーソン・センタード・ケアの基本から地域における実践アプローチを講義、個人ワーク、パネルディスカッションから学ぶ</p> <p>【受講者等の主なご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権や尊厳を尊重したケアの方法の理解が深まった。 ・人間として当たり前を求める心理的ニーズをしっかりと理解しているか、振り返りたいと思います。 ・職員育成計画の内容にも含まれるヒントが得られました。 <p>など</p>
【その他地域特性やニーズなどに応じて独自に実施した主な取組】				
取組①	災害リハビリテーション	板橋区立おとしより保健福祉センター主催の板橋区地域リハビリテーションサービステキニク調整会議(自立支援・介護予防のための地域ケア個別会議)へリハビリテーション科医師を派遣している。(年9回)	【議事】一般介護予防事業について 足立区医師会と対面にて情報共有 足立区福祉部と対面にて情報共有	
取組②	HPの開設	各区リハビリテーションネットワークの依頼を受け、講演会の共催、後援を行っている。	【議事】患者家族会 相談会への参加 医師を派遣、患者・家族の相談対応	

※「主なテーマ」は、年度内に実施した研修会や講演会などのうち、自センターの強み・独自性を活かしたものや、受講者等から多くの反響などがあったものから選定

地域リハビリテーション支援センター 令和4年度活動実績 ③

圏域・センター	(区東部) 東京都リハビリテーション病院	(西多摩) 大久野病院	(南多摩) 永生病院	
【地域リハ関係者との連絡協議会等】				
開催回数	6 (3区 (墨田・江東・江戸川) ×2回) 回	5 回	6 回	
【リハ専門職・リハ関係者、地域住民などを対象とした研修会・研究会、講演会】				
開催回数	20 回	6 回	7 回	
参加人数計	567 人	301 人	271 人	
主なテーマ等 (※)	開催日	令和5年1月28日	令和4年11月8日	令和4年11月22日
	テーマ	コロナに負けないからだづくり	地域ケア会議におけるリハビリテーション専門職の役割ー地域での関わりの実際ー	検査データの見方☒療法士に必要な検査データの見方～
	概要・受講者等のご意見等	区民公開講座として、墨田区、墨田区医師会と協働で開催した。墨田区民を対象にコロナ禍での身体機能低下の予防を目的として、医師、リハビリ専門による講義、体操を実施 ・自宅で実行できる体操が多く、資料を参考に毎日体操を続けていきたい。 ・社会とのつながりを失わず、自分自身の健康状態を知り、維持して今後生活をしていきたい。	・実際に西多摩地域で地域ケア会議に関わるリハ専門職 (3市) から、どのようなかたちで関わりどのような役割を果たしているかをご講演いただいた。 ・各地域ごとの地域ケア会議の役割やリハ職の関わり、重視していることなどの実際を知ることができて参考になった。	・療法士が検査データを確認する意味 ・検査データをカテゴリーで分けて考えることは大変参考になった
主なテーマ等 (※)	開催日	令和4年9月15日	令和5年2月4日	令和5年2月4日
	テーマ	地域の災害対策について	移乗の技術ー介助する人・される人のためにー (南多摩と共催講習会)	移乗の技術ー介助する人・される人のために
	概要・受講者等のご意見等	DMATで活躍されている平成立石病院 大桃副院長に講師となっただき、地域の災害対策について、講義とグループワークを実施 ・実際の災害時の体験談や映像を通して、災害時に職能をどう活かすか考える事ができた。 ・グループワークで、実際の場面を想定して多職種で意見交換ができた。	・ベッドと車いす、トイレ、入浴における以上介助技術、リフトなど福祉用具の活用に関する実技講習会。 ・リフトや福祉用具は説明を聞いただけではわからないので、実際に使用したことがない機器も試せて非常に参考になった。体を痛めてしまうことがあったので参考になった。	・11社の企業の協力のもと、移乗に関する福祉機器の体験型ワークショップを実施 ・様々な機器、経験を共有できる会でした
【その他地域特性やニーズなどに応じて独自に実施した主な取組】				
取組①	地域リハビリテーションセミナー (計14回)	装具貸出事業 (評価用の備品下肢装具がない施設や訪問事業所への貸出事業) 及び装具福祉用具手帳の配布	フレイル予防うちわの圏域内住民への配布	
取組②	生活機能向上連携加算の取得支援 (4事業所に対し、年4回の支援)	地域事業の相談、派遣	地域包括支援センターと認知症VR体験会	

※「主なテーマ」は、年度内に実施した研修会や講演会などのうち、自センターの強み・独自性を活かしたものや、受講者等から多くの反響などがあったものから選定

地域リハビリテーション支援センター 令和4年度活動実績 ④

圏域・センター	(北多摩西部) 村山医療センター	(北多摩南部) 武蔵野赤十字病院	(北多摩北部) 多摩北部医療センター	
【地域リハ関係者との連絡協議会等】				
開催回数	1 (令和5年3月実施予定) 回	5 回	2 回	
【リハ専門職・リハ関係者、地域住民などを対象とした研修会・研究会、講演会】				
開催回数	3 回	4 回	5 (3/9開催分の研修会を含まず) 回	
参加人数計	134 人	100 人	94 人	
主なテーマ等 (※)	開催日	令和4年10月26日	令和4年7月5日	令和4年7月28日
	テーマ	移乗動作の介助方法について	(研修会) 脊髄損傷の再生医療とリハビリテーション	フィジカルアセスメントの使い方
	概要・受講者等の主なご意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・移乗動作の基本について知ることができた。 ・移乗時の膝の指示について、参考になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市内在職リハビリテーション専門職向け ・アンケート結果は90%以上の好評を得た 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者にどのくらいの運動負荷をかけてよいか
主なテーマ等 (※)	開催日	令和4年12月15日	令和5年3月10日	令和4年9月1・8日
	テーマ	福祉用具と自助具をうまく利用しよう	府中市リハビリテーション協議会共催 地域包括ケア病棟でのリハビリの役割	リンパ浮腫の治療について
	概要・受講者等の主なご意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・既知の物もあったが、体系的に纏められていて知識の整理になった。 ・日常生活場面毎の用具利用について参考になった。ケアプランへ反映したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハ専門職向け講演会 ・府中市内でリハビリ専門職の関与する病棟展開から在宅までのつながりを講義する 	<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ管系の構造と動き ・リンパ浮腫とは ・どんな治療をするか
【その他地域特性やニーズなどに応じて独自に実施した主な取組】				
取組①	市内の住民団体にPTを派遣し介護予防のための運動等の指導を行っている。	障害児向けサッカー教室サポート (武蔵野市・狛江市)	嚥下障害に関するリハビリテーションの普及	
取組②	患者さん、家族、医療・介護従事者・関係者の方 リハビリテーションに関する相談窓口の設置	介護予防事業への協力 (狛江市・武蔵野市)		

※「主なテーマ」は、年度内に実施した研修会や講演会などのうち、自センターの強み・独自性を活かしたものや、受講者等から多くの反響などがあったものから選定